※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	2･3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

服飾・手芸に関する知識と技術を学習しましょう。

・基本的な裁縫、刺しゅう、編み物、その他手芸に関する基礎的な知識、技法を学習し、それらの技法を活用して作品を製作しよう。

・作品製作を通して、楽しさ、喜び、達成感等を味わい、学んだことを実生活の中で活用していきましょう。

２　学習の到達目標

a：各種手芸の種類や特徴、技法に関する基礎的、基本的な知識を身に付ける。
　各種手芸の基礎的、基本的な技術を身につけ、それを活用し、作品をデザインし、オリジナル作品を製作する。

b：各種手芸の技法や特徴を理解し、製作過程における課題や問題の解決を図り、思考を深める。

c：各種手芸に関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組もうとする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各種手芸の種類や特徴、技法に関する基礎的、基本的な知識を身につけている。 ・各種手芸の基礎的、基本的な技術を身につけ、それを活用し、作品をデザインし、オリジナル作品を製作している。	・各種手芸の技法や特徴を理解し、製作過程における課題や問題の解決を図り、思考を深めようとしている。	・各種手芸に関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	裁縫の基本・制作実習	＊裁縫の基本 手縫いの方法 ・ピンクッション ・テディベア ・フェルトマスコット	a：裁縫の基本技術を身につけている。 b：製作過程で発生した課題や問題を解決するために試行錯誤することができる。 c：裁縫の基本を学び、作品製作に関心を持つ。 作品に発展的な装飾など工夫するとができる	実技テスト 作品	実技テスト 実習の記録 作品	学習状況の観察 実習の記録 作品
二学期	裁縫の基本・制作実習	＊裁縫の基本 ミシンの使い方 ・テディベア ・ポーチ ・エコバック ・ミサンガ ・フェルトマスコット ・スマホケース ・マフラー	a：裁縫の基本技術を身につけている。 b：製作過程で発生した課題や問題を解決するために試行錯誤することができる。 c：裁縫の基本を学び、作品製作に関心を持つ。 作品に発展的な装飾など工夫するとができる	実技テスト 作品	実技テスト 実習の記録 作品	学習状況の観察 実習の記録 作品
三学期	・制作実習	＊作品制作 ・マフラー ・フェルトマスコット	a：裁縫の基本技術を身につけている。 b：製作過程で発生した課題や問題を解決するために試行錯誤することができる。 c：裁縫の基本を学び、作品製作に関心を持つ。 作品に発展的な装飾など工夫するとができる	作品	実習の記録 作品	学習状況の観察 実習の記録 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度